

# いわて国体で愛媛県が総合優勝(初)

執筆／愛媛県相撲連盟理事長 龍山 義弘

種目別では、少年が団体準優勝！

成年が団体3位入賞！

平成28年10月2日(日)から4日(火)までの3日間にわたり、「2016希望郷いわて国体・相撲競技」が、岩手県の八幡平市総合運動公園体育館で開催されました。

競技初日は、少年の部の団体予選が行われました。少年の部(高校生)は5人制で競われ、先鋒、二陣、中堅、副将、大将と大会前に申請した順番に従って戦い、3人以上勝った方のチームの勝利となります。

予選は、47都道府県の代表が予選3試合を戦い、勝率の高い16チームが、優秀16団体・決勝トーナメント戦に勝ち上がります。しかし、競技得点を獲得するためには決勝トーナメントの1回戦で勝ってベスト8まで勝ち上がる必要があります。愛媛県は団体予選1回戦、2回戦、3回戦と3戦全勝で47都道府県のなかを予選1位で通過しました。

2日目の決勝トーナメントでも、愛媛チームの快進撃は止まりませんでした。1回戦、準々決勝、準決勝そして決勝戦と順当に勝ち上がりました。決勝戦で埼玉県に1対4で敗れましたが、少年の団体3位以上入賞は、71年の国体の歴史上、初めてのことの大健闘でした。

そして、団体戦の後に行われた個人戦においても、山口怜央(津島高校3年)と住木厳太(野村高校2年)の2人が5位(ベスト8)に入賞しました。

2日目(3日)の午前中、少年が団体準優勝という殊勲の成績を上げた後、成年の団体予選が行われ、予選1回戦で秋田県に1対2でまさかの敗退。これ以上負けると成年は、予選落ちという危機に陥りました。しかし、追い込まれた愛媛県成年チームは本領を発揮、予選2回戦と3回戦は無傷の勝利。2勝7点で決勝トーナメントに進出することが出来ました。

決勝トーナメントで1回戦を勝ち、準々決勝も強豪・和歌山県を下し、準決勝では新潟県に敗れましたが、3位決定戦で長崎県に快勝。みごと団体3位に入賞しました。少年が団体準優勝、成年が団体3位に入賞したことで天皇杯得点63点を獲得。2位以下に10点以上の差をつけて総合優勝の栄冠を獲得することが出来ました。これも愛媛の相撲史上、初の快挙でした。

今回の国体で「総合優勝」の栄冠を獲得したことで、選手にとっても、役員にとっても「やればできる！」という大きな自信となりました。えひめ国体で国体2連覇を達成できるように努力、精進を重ねたいと思います。

